



稲作農家 各位

山武稲作情報 臨時報

(2021年2月16日発行)

山武農業事務所 改良普及課
電話 0475-54-0226
FAX 0475-52-7914

令和3年の水稻栽培が始まります～栽培初期の管理のポイント～

イネばか苗病防止の徹底を

イネばか苗病対策を徹底するためには、種子更新を行うとともに、ヘルシードTフロアブル等の化学農薬による種子消毒を適切な方法で行いましょう。ワラや籾殻、米ヌカ等も伝染源となるため、作業場の清掃や浸種・育苗用資材の消毒も必要です。

- ヘルシード Tフロアブル（200倍24時間浸漬）では、種子量に対して薬液量が少なくならないように**容量比1：1**とします（重量比では種子1kgに薬液約2ℓ、表1）。
- 薬液の水温は**10～15℃**とします（低温の場合十分な効果が得られません）。
- 飼料用米でも、苗質の向上による収量確保のため、同じ対策が必要です。

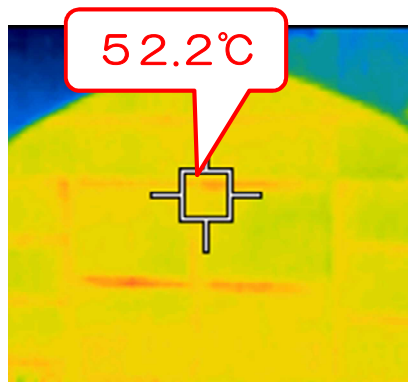
表1 種子量に対する薬量と水量

袋	薬液量	
	薬量	水量
3袋	120ml	24L
5袋	200ml	40L
10袋	400ml	80L

注) 1袋に種子4kg入り

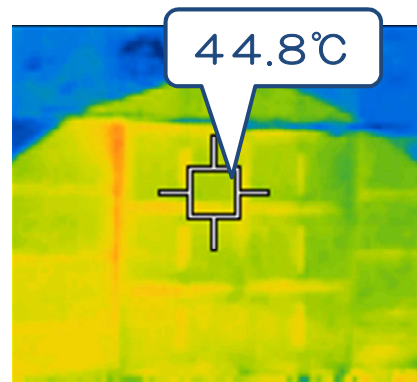
あなたの育苗ハウス、熱くなっていませんか？

昨年の育苗期間は、日照時間が平年よりも長く、高温による苗の「やけ」症状が多くみられました。特に、令和元年秋の台風の影響によりビニールを張替えた育苗ハウスでは透過光が強く、普段の換気では足りずに40℃以上の高温になったことが一因です。温度管理を徹底し、健苗育苗を心がけましょう。



【張替初年目のハウス】

*並列した2棟で、前日から閉め切った日中のハウスをサーモカメラで撮影（温度はハウス内の実測値、令和2年5月15日15時頃（天候：晴れ））



【張替4年目のハウス】

ハウス温度管理のポイント

- ハウス内温度は、**気象条件やビニール・被覆シートの劣化具合によって変動**します。
⇒従来の方法にとらわれず、**温度計の数値**に応じて管理しましょう。
- 出芽期は30℃以下、緑化期以降は25℃以下に管理します。
⇒**アルミ蒸着シート**（本州太陽シート等）を活用して、日中の高温防止・夜間の保温を効率的に管理しましょう。
*ただし、3月に平置き無加温出芽を行う場合は温度不足となるため、適しません。

乾土効果（カンドコウカ）について

水田の土は、よく乾燥させてから湛水すると、稲ワラなどの有機物が分解されやすくなり、乾燥が不十分な場合よりも多くの窒素（地力窒素）が稲に供給されます。このような現象を「乾土効果」と呼びます。

「乾土効果」は、秋以降ほ場が乾燥している期間が長かったり、春先によく乾燥した年ほど高まるので、**今年は生育前半にいつもより多くの窒素が供給される可能性があります。**例年よりほ場が乾いていた場合は、基肥が過剰施用にならないように注意し、また、茎数の増加に応じた適切な中干しを行ってください。

土性と「粒すけ」の基肥窒素量

山武地域には、海側に「砂質土」という土性（土壌の性質）の地域があります（図1）。ほ場の土性を把握して適切な施肥を行うことが大切です。

特に、昨年デビューしたばかりの「粒すけ」は、経験による施肥設計が難しいため、**土性ごとの基本となる基肥窒素量（表2）に基づいて施用量を決定し、多収を目指しましょう。**

全量基肥施肥の場合は「コシヒカリ」専用等（溶出期間が90～100日タイプ）を使用した上で、基肥窒素量の不足分を単肥で補いましょう。

表2 土性及び移植時期別の「粒すけ」の基肥窒素量 (kg/10a)

土性	移植時期		「コシヒカリ」に対する窒素施用量の目安
	4月下旬～5月上旬	5月中旬	
砂質土	6～8	5～7	2倍
壤・粘質土	3～5	2～4	1.5倍

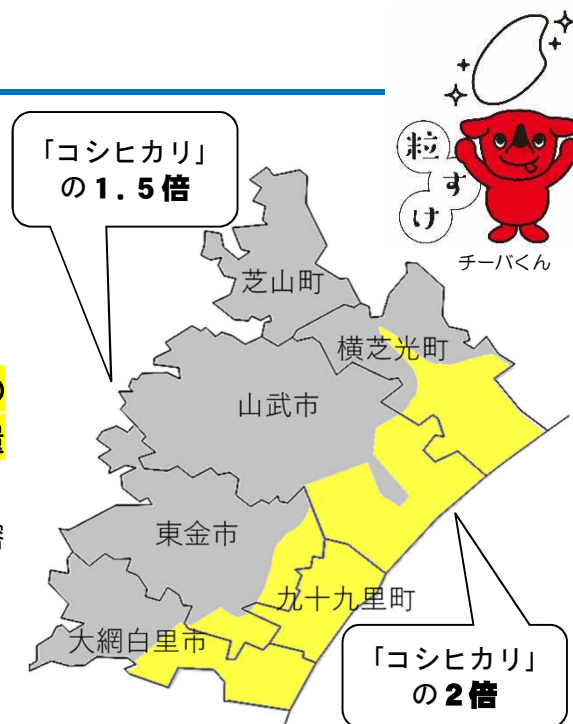


図1 山武地域における土性の分布に応じた「粒すけ」の基肥窒素量（対「コシヒカリ」比）
黄色（海側）：砂質土
グレー（内陸側）：壤・粘質土
注）千葉県耕地土壌情報データベースに基づいて作図

除草剤（初中期一発剤）の田植え同時散布には要注意

水稻は除草剤の影響を多少なりとも受けまます。中でも、初中期一発剤は比較的影響が大きいことから、**「田植え同時散布」ができる剤でも使用に当たっては注意が必要です。**植え穴が戻らなかった場合（図2）や、減水深が大きいほ場の場合には、除草剤の成分を含んだ田面水が水稻の根に直接触れることとなり、水稻の生育が著しく抑制されます。特に、砂質土ではこのような状態となりやすく、注意が必要です。

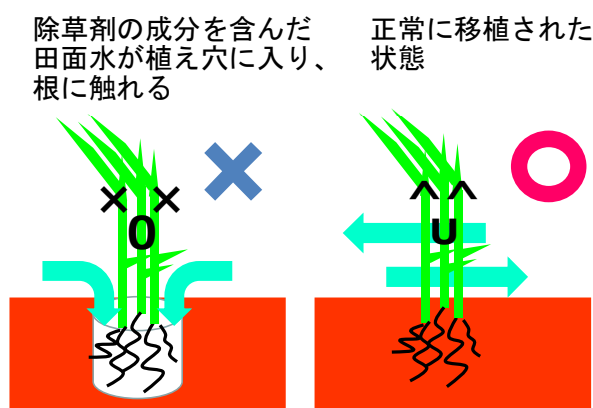


図2 除草剤による薬害の一例（模式図）

経営の安定化のために、飼料用米等の新規需要米に取り組みましょう